

3 ポリシーの策定・運用に係るアンケート調査

中間速報

平成 28 年 9 月 1 日

地域科学研究会 高等教育情報センター

はじめに

「3つの“ポリシー”の策定・公表」が本年度における大学教学マネジメントの最大テーマとなります。

では、“何故に”“どこを”“どう直すか”なののでしょうか？ 現在、既にAPが100%、CP及びDPが大学全体で80%、学部95%が策定済みであり、まずはP・D・C・Aサイクルでの検証が肝要かと存じます。また、“3ポリシー”はまさに“ポリシー”レベルのことであり、なによりも、教学活動の具体化の中で、いかに学修成果をあげたかの点検・評価活動が先行すべきであります。

確かに、各大学の“AP”を拝読しても、率直に言って、心に響くものはあまりありません。例えば、「世のため、人のために学びたい人」「卒業後、企業に入社するのではなく、自ら創業・起業したい人」を歓迎するといったAPはあまり見かけません。

また、DPにおいて、「〇〇が出来る」という学修成果の評価項目が掲げられます。しかしながら、どこまでリアリティある評価をいかになすのでしょうか。3ポリシーを策定してから日が浅く、未だ卒業生を出していない大学・学部では、求められるのは、まずは教学マネジメントの検証と実質化への取組みといえましょう。

そこで、高等教育キーパーソン各位約9,500人及び大学理事長・学長各位300人への「3ポリシーの策定・運用に係るアンケート調査」をWeb上で実施しました。

目 次

I. 調査概要	1
II. 中間結果報告	1
Q1. 現在の3ポリシーの策定状況（複数回答）	2
(1) AP (2) CP (3) DP	
Q2. 現行3ポリシーの「一体性・整合性」の自己評価	2
Q3. 現行3ポリシーの見直しの必要性	3
Q4. 中教審の3ポリシーガイドラインの評価（複数回答）	3
(1) 運用上の留意事項 (2) 公表上の留意事項	
Q5. 改訂・策定上の現下の課題（複数回答）	4
Q6. CAP策定の必要性	4
Q7. 改訂・策定・公表の目途	5
(1) 改訂・策定 (2) 公表	
Q8. 公表上の工夫	6

I. 調査概要

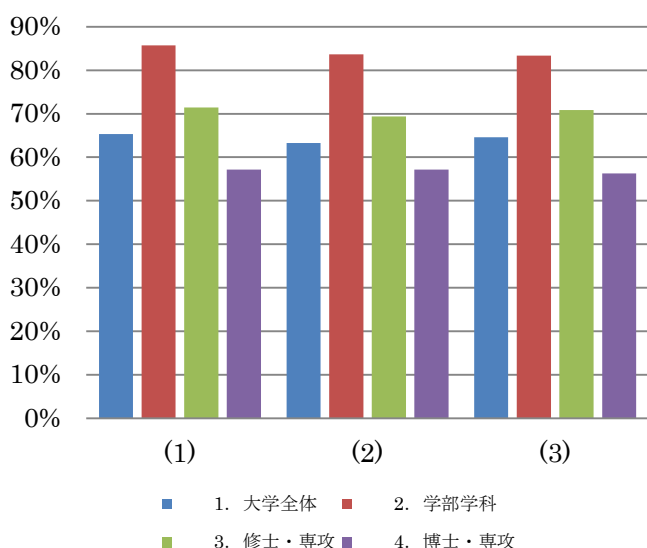
1. 調査名 3ポリシーの策定・運用に係るアンケート調査
2. 調査目的 平成29年4月から策定・公表が義務づけられる3ポリシーの状況
3. 調査対象 高等教育キーパーソン各位約9,500人及び大学理事長・学長各位300人（キーパーソン氏からは所属大学の状況を踏まえつつ個人の見解）
4. 調査方法 Web上での実施
5. 依頼送信 2016年8月18日及び19日
6. 回答締切 2016年9月12日
7. 回答数(8月31日現在) 38機関(4年制大学32、短期大学3、大学院大学1、専門2／設置主体は国立5、公立4、私立29)

Ⅱ. 中間結果報告

Q1. 現在の3ポリシーの策定状況（複数回答）

(1) A P (2) C P (3) D P

回答 1. 大学全体 2. 学部学科 3. 修士・専攻 4. 博士・専攻

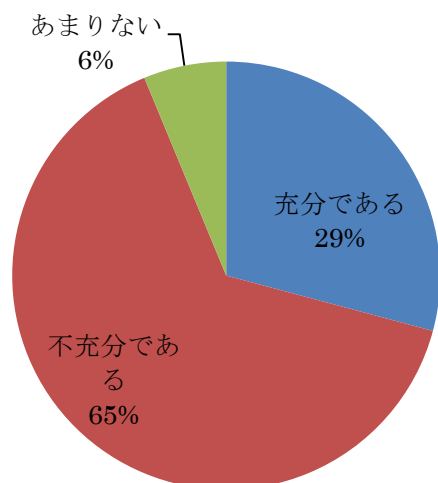


※有効回答数は38（DPのみ37）

回答	(1)	(2)	(3)
1. 大学全体	65%	63%	65%
2. 学部学科	86%	84%	83%
3. 修士・専攻	71%	69%	71%
4. 博士・専攻	57%	57%	56%

Q2. 現行3ポリシーの「一体性・整合性」の自己評価

回答 1. 充分である 2. 不十分である 3. あまりない



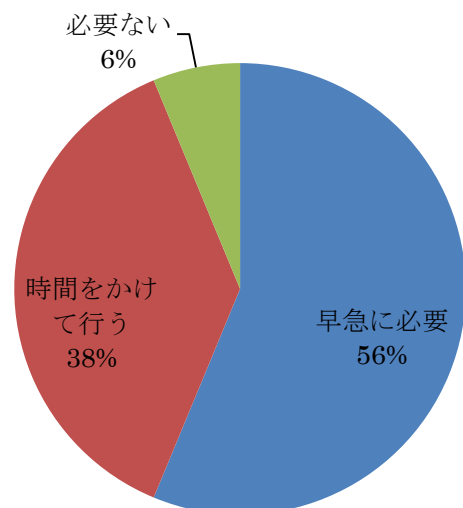
Q2. 現行3ポリシーの「一体性・整合性」の自己評価	
1. 充分である	14
2. 不十分である	31
3. あまりない	3
計	48

<意見・感想>

- ・学部・大学院との整合性に問題がある

Q3. 現行3ポリシーの見直しの必要性

回答 1. 早急に必要 2. 時間をかけて行う 3. 必要ない

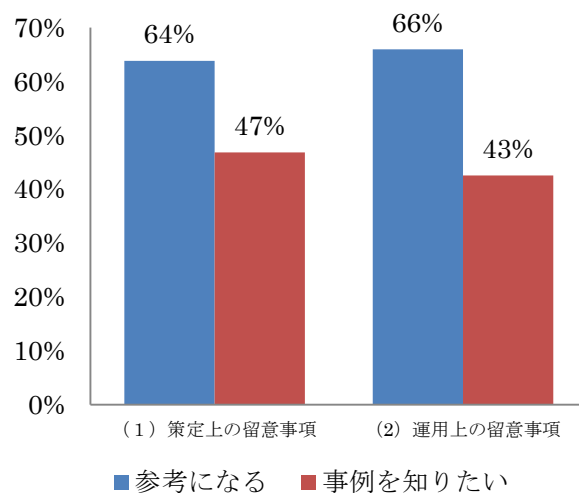


Q3. 見直しの必要性	
1. 早急に必要	27
2. 時間をかけて行う	18
3. 必要ない	3
計	48

Q4. 中教審の3ポリシーガイドラインの評価（複数回答）

(1) 策定上の留意事項 (2) 運用上の留意事項

回答 1. 参考になる 2. 先進の具体事例を知りたい 3. その他（自由回答）



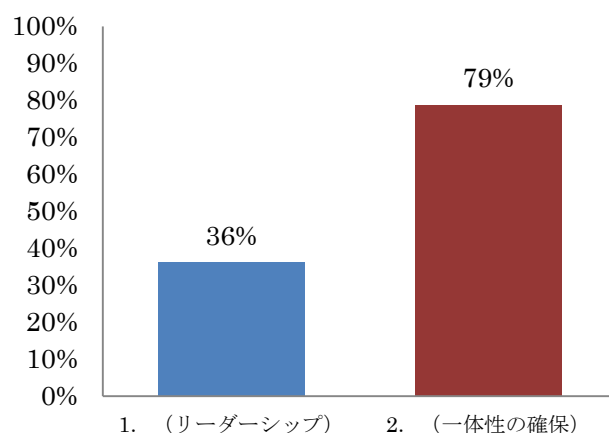
Q4.中教審の3ポリシーガイドラインの評価		
回答	(1)	(2)
1. (参考になる)	30	31
2. (事例を知りたい)	22	20
計	47	47

<その他（自由回答）>

- ・ガイドラインの文章だけでは分かりにくい
- ・(1) ガイドラインに記載されていることがやや甘い
- ・(2) 運用については全くその通り。当然のことなので、あまり参考にはならない

Q5. 改訂・策定上の現下の課題（複数回答）

回答 1. リーダーシップ・態勢づくり 2. 一体性・整合性の確保 3. その他（自由回答）



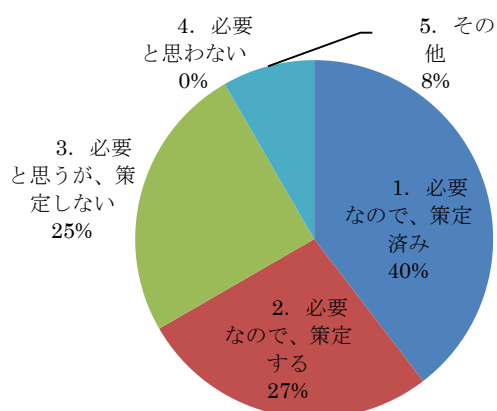
課題	件数
1. (リーダーシップ)	17
2. (一体性の確保)	37
計	2

<その他（自由回答）>

- ・教職員での共有
- ・策定の目的・対象者が不明確
- ・3ポリシーの趣旨を理解しない教職員があまりに多過ぎる。

Q6. CAP 策定の必要性

回答 1.必要なので、策定済み 2.必要なので、策定する
3.必要と思うが、策定しない 4.必要と思わない 5.その他（自由回答）



回答	件数
1. 必要なので、策定済み	19
2. 必要なので、策定する	13
3. 必要と思うが、策定しない	12
4. 必要と思わない	0
5. その他	4
計	48

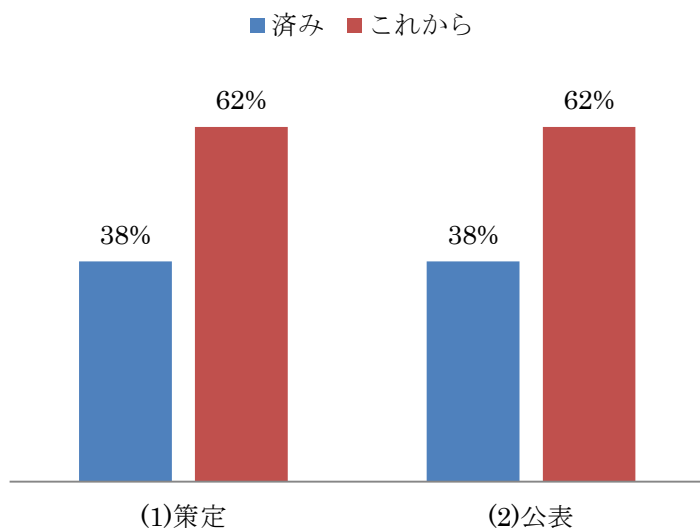
<その他（自由回答）>

- ・大学院大学の場合、CAP 制はケースバイケースで策定すればよい
- ・資格養成校の立場から必須科目が多く必要性を感じないが、策定する必要はある
- ・3ポリシーの一体的策定の中で必然的に取り組む
- ・必要と思うが、カリキュラムのみにアセスメントポリシーがおかれ、他のポリシーでは求められないのかが不可解
- ・必要と思ひ策定の必要性を学内にて主張してきたが、優先順位として高いところにならない

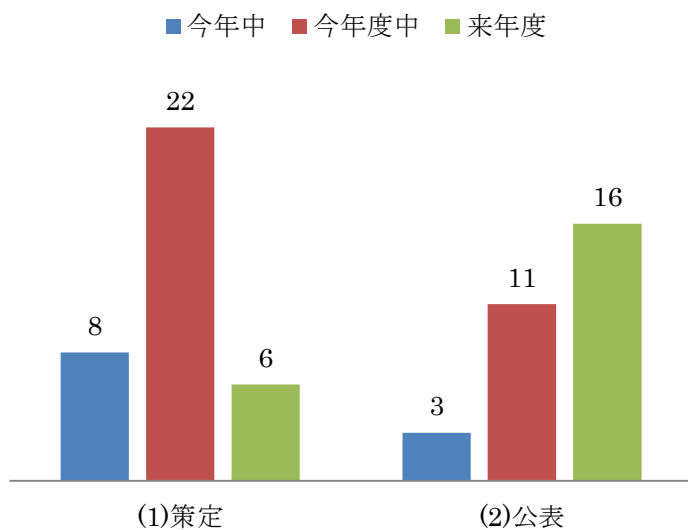
Q7. 改訂・策定・公表の目途

(1) 改訂・策定の目途 (2) 公表の目途

回答 1. 策定（公表）済み 2. 策定（公表）予定



	(1)策定	(1)公表
1. 済み	18	18
2. これから	29	29
計	47	47



	(1)策定	(2)公表
今年中	8	3
今年度中	22	11
来年度	6	16

Q8. 公表上の工夫 <自由回答>

- ・ ホームページや広報媒体など広く公開をしたい
- ・ HP、学生便覧の掲載
- ・ 全学 DP と学科 DP との連動性がよくわかるような工夫をしたい
- ・ ホームページ、学生便覧、募集要項等で周知徹底に努めています
- ・ 大学ホームページ，入学者選抜要項，募集要項等で公表
- ・ 大学案内、HP 等各種ツール
- ・ HP、大学案内、学生便覧等で広く世間、学生等に告知
- ・ 募集要項、ホームページ等、本学のステークホルダーにわかりやすく伝える必要性を感じている
- ・ 学内広報・後援会・同窓会紙に公表
- ・ 大学ホームページに公表